

# 「わくわくタイム」年間計画表

		4月	5月	6月～7月	9月～10月	11月～12月	1月～3月													
子どもの様子	年少	・クラス活動としてリズム遊びを楽しんできています。	・恥ずかしさから参加しにくい幼児もいるが、ほとんどの幼児は年長児に優しく誘ってもらったり、教師と一緒にいたりして、参加できるようになってきている。 ・経験を重ねることでリズム遊びや触れ合い遊びを楽しめるようになってきているが、大勢の中での活動に戸惑っている幼児の姿も見られる。	・繰り返し同じリズム遊びを行うことで、不安を感じないで参加できるようになってきている。年長児やクラスの友達の様子を見ることも、楽しんでいる。 ・わくわくタイムで一緒にしている年長児を身近に感じる様子も見られるようになってきた。	・長期休業明けだが、早くから生活リズムを取り戻せた。 ・ペアの年長児と一緒にすることを楽しんでいる。 ・これまでわくわくタイムで年中児と一緒にすることがなかったが、年中児の踊りに興味をもち、年中児の存在を意識し始めた。	・年中児とペアを作り、一緒に歩いて出かけた。これまでに年長児やクラスの友達と一緒に活動をする経験がたくさんできていたのので、ほとんどの幼児はペアの年中児とも抵抗なく手をつなぐことができたが、初めての相手に戸惑う幼児もいた。	・年長児に誘われることをとても楽しみにしている。年長児、年中児と一緒に喜んで活動に参加している。普段の遊びの中でも、一緒に遊んだり、言葉を交わしたりする姿もたくさん見られる。 ・3人組で活動することにも慣れてきているが、年中児の名前や顔が覚えられていない幼児もいる。													
	年中	・わくわくタイム以外の機会を設け、年中同士で触れ合ったり、年長児とペアになって触れ合ったりして楽しむことができた。	・よく知った友達とは手をつなぎ二人組になることができるが、誰とでもは手をつなぎにくい幼児もいる。 ・ほとんどの幼児が参加できる。しかし、下を向いて砂いじりをしたり、話を聞いていなかったりして、友達との触れ合いをしているという意識が低い。座ったままで体の動かない幼児もいる。	・繰り返し同じリズム遊びを行うことで、活動の流れが分かり、落ち着いて参加できるようになってきている。集団活動に参加しにくい幼児も、みんなと一緒に楽しむことができています。 ・誰とでもと抵抗なく二人組になることができるようになってきている。	・長期休業明けだが、流れがよく身につけており、普段通り参加することができている。 ・運動会で親しんだリズムを年少、年長児に張り切って教える姿が見られた。 ・後期になり、初めて三人組になったが、年長児にリードしてもらいながら無理なく活動できた。	・三人組での活動にも慣れてきて、異年齢の幼児とのかかわりを楽しむようになってきた。 ・年少、年中のみのわくわくタイムを経験したが、誰かペアがわかっていない幼児が多かった。自分たちが一番上になることで自覚が芽生えてきた。 ・ペアで楽しむ内容が増えてきて、体を触れ合わせて楽しむことができています。	・今までの三人組を基本として6～7人での活動を取り入れたが、グループで一緒に触れ合うことも楽しめるようになってきている。しかし、中には気持ちがそれでグループに参加できない幼児もいた。 ・年長児に対しての親しみが増し、他の遊びや行事の中でも喜んでかかわるようになった。個人差はあるものの、年少児に対しても優しくかかわれる幼児が増えてきた。													
	年長	・年長児として年少児、年中児と触れ合うことを楽しみにしている。	・年少児とペアをつかって同じ友達を誘うことで親しみをもってかかわれ、優しく接することができるようになってきている。 ・かかわり方が分からなかったり、活動から離れがちになる年少児に困ったりする幼児もいる。教師が声をかけたり一緒に参加することでがんばろうとしている。	・わくわくタイムで年少児を迎えに行くことを楽しみにしている幼児が多く、年少保育室の前で待つ姿が見られる。 ・選んだ活動で一緒に遊ぶ姿も見られ、ペアの幼児に優しくかかわる幼児もいる。	・休み明けでもペアの年少児を覚えていて、一緒に活動することを楽しんでいた。 ・年少児に頼られていることを喜び、さらに張り切る姿もみられる。 ・年中児と年少児を両手につなぎとまどう幼児もいたが、頑張ろうとする姿も見られた。	・年中児が運動会でしたりリズムを教えてくれたことで、三人組での活動に抵抗なく入れた。 ・三人でしている意識がもてるようになって、年少児、年中児それぞれに声をかける姿が見られるようになって来た。	・三人組にもスムーズになることができ、親しみを感じながら喜んで世話をする姿が見られる。 ・六人組になっても楽しむことができ、リーダーとして進んで活動する幼児もいる。													
ねらい	年少	・「わくわくタイム」を知る。	・先生やクラスの友達と参加する。	・年中、年長児に親しみをもつ。	・年中、年長児に親しみをもち、楽しむ。	・年中、年長児と一緒に喜んで参加する。	・年中、年長児とかかわることを楽しみにする。 ・年中、年長児とかかわることを楽しみ、あこがれの気持ちをもつ。													
	年中	・先生や友達と一緒に参加する。	・先生や友達と一緒に喜んで参加する。	・年長児や年少児と一緒に喜んで参加する。	・年長児や年少児とかかわって遊ぶことを楽しむ。	・年長児や年少児に親しみをもって触れ合おうとする。	・年長児の優しさに気付き、自分達も年少児に優しくかかわろうとする。 ・年少児や年長児に優しくかかわり、進級への期待をもつ。													
	年長	・友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。	・年少児を誘って参加し、みんなで一緒にすると楽しいという気持ちをもつ。	・年少児や年中時の世話をすることで親しみをもち、一緒に活動する楽しさを味わう。	・年少児・年中児と一緒にリズムをしたり見ってもらったりすることで自信をもつ。	・自ら進んで異年齢の幼児を誘って、一緒に活動することを楽しむ。	・今まで経験してきたリズムやわらべうたを楽しむ。 ・わくわくタイムに参加する中でいろいろな友達とかかわる。													
手遊び わらべうた	〔4月 パンダ・ウサギ・コアラ〕		〔5月 たけのこめだした あやめにすいせん〕		〔6月 あやめにすいせん ざりがにちよきん さよならあんころもち〕		〔7月 すいか〕		〔9月・10月 ダイコンツケ・ とんぼとんぼ〕		〔11月 どんぐりころちゃん たぬきさん せりせりごんぼ〕		〔12月 せりせりごんぼ こどもとこどもが〕		〔1月 せりせりごんぼ〕		〔2月 たぬきさん〕		〔3月 どんぶかつか まめがら〕	
リズム	〔どうぶつたいそう1・2・3〕		〔たけのこたいそう〕		〔めだかのがっこう〕		〔NO.1体操 おふろやさんにいこみ〕		〔NO.1体操 早島ござ織りサンバ・月夜の晩によろしくね・にんげんっていいな ドンスカパンパン応援団〕		〔おでんぐつぐつ体操 ドンスカパンパン応援団〕		〔ジングルベル おでんぐつぐつ体操〕		〔おでんぐつぐつ体操〕		〔にんげんっていいな〕			
反省	年少	天候の悪い日が続く、異年齢でかかわってはできていないが、クラス活動の中で教師や友達と一緒にした。	園生活に慣れてきてからのわくわくタイム参加となったため、年長児に誘われて、手をつなぐことを嫌がる幼児もほとんどおらず、参加することができた。リズムやわらべうたは各クラスで経験してからわくわくタイムに入るので、楽しんですることができたが、大きい集団の中での活動に、じっと立ち止まってしまう幼児もいた。	5月までは触れ合いを楽しむというよりは、個人で踊りを楽しんでいるところが多かった。『めだかのがっこう』を2人組で向かい合い、手をつないでしたことで、一緒にする楽しさが味わえた。7月は天候が悪かったり、異学年とのプール入水時間が違ったりして、わくわくタイムができていないが、着替えを手伝ってもらったりする時間を通して、より身近に感じることもできた。	・運動会の開会式でする体操は夏休み前から親しんでいたの自信をもって踊ることができた。 ・夏休み前までのかかわりで年長児には親しみをもっていただけで、一緒に運動会で踊るリズム遊びを楽しんだ。 ・年中児が踊る踊りを見せてもらったり、一緒にしたりすることで、年中児とのかかわりももてるきっかけになったのでよかった。	・年中児が加わった3人組での活動に抵抗なく参加できるようになったのは、ペアの年長児との信頼関係ができていたからだと思う。 ・いろいろな活動を通して年中児との関係も深めていけるようになっていきたい。	・年長児とのかかわりはしっかりできたが、年中児とかかわる機会が少なかったため、もう少しいっしょにする機会をもてばよかった。 ・1年間を通して同じペアで活動してきたり、ふれあい遊びをたくさん取り入れたりしたことで、友達と一緒にする楽しさを味わったり、人数が増えても安心して活動に参加したりすることができるようになった。													
	年中	天候の悪い日が続く、わくわくタイムはできなかったが、それ以外の機会にさくら組とすみれ組で触れ合ったり、年長児と触れ合ったりすることができた。	・知っているリズムを繰り返したことで、しっかりと楽しむことができた。 ・定期的に行うほうが参加しやすかった。 ・意欲的に体を動かすことのできない幼児も楽しめるよう、援助をしていきたい。	・クラスで事前に、わくわくタイムで行う活動に親しんでおくことで、スムーズに参加することができるようになり、よかった。 ・「めだかのがっこう」や「お風呂屋さん」では、年少児や年長児と直接触れ合うことはないが同じグループでリズムを楽しむことができ、異年齢児を意識することができた。今後は、少しずつ年少児や年長児と触れ合う活動を取り入れていきたい。	・三人組での活動を取り入れはじめたことで、ようやく異年齢の触れ合いがもてるようになった。できればもう少し早い段階で触れ合うことができればよかった。 ・運動会でしたりリズムを教えるという経験は、年中児にとっては自分たちが中心となって進められるよい経験となった。	・三人組の活動には慣れてきているが、やはり年長児に誘ってもらうことでできている。年少児に対する意識は低いので、機会を捉えて年中と年少のペア活動も少しずつ取り入れていきたい。 ・「たぬきさん」「せりせりごんぼ」などの体を触れ合わせる遊びは、異年齢の幼児との距離が縮まり、よかった。	・6～7人グループの活動は、あまり回数を重ねることができなかった。そのため、活動に入りきれない幼児もいたため、もう少し早目に積み重ねができていけばよかった。 ・年間固定のペアを決めたことで、一緒に活動した幼児への親しみはとても大きくなった。特に年長児に対する憧れの気持ちはとても強く、年長になる期待が高まった。 ・この時期には、年中児が中心となる活動をもう少し取り入れてもよかった。世話をする方の立場になることで年長になる自覚が芽生えたのではないかと。													
	年長	天候の悪い日が続く、わくわくタイムはできなかったが、年長児として、一緒にしたいという気持ちをもって楽しみにしているようだった。	・同じ年少児に接することで親しみをもち、世話をすることで、年長としての自覚や優しさが見られるようになった。 ・年中児とは触れ合えなかったが、誕生会や園外保育などでのかかわりはもてた。今後のわくわくタイムでのかかわりに結び付けたい。 ・登園の遅い幼児がいるので、朝の話がゆっくりできず、わくわくタイムの時間になってしまうと、スムーズに活動に入れない幼児もいた。	・迎えに行くとうれしそうな顔をしてくれる年少児がいたり、また着替えを手伝ったりすることもあり、より親しみももて、選んだ遊びのとき、ペアの幼児に合わせて一緒に遊ぶ幼児もいた。	・夏休み明けでもペアの年少児を喜んで誘いに行き、スムーズに活動に入れる幼児がほとんどであったが、少し戸惑う幼児もいた。 ・年長児としての自覚をもって年中児を誘い、年少児を誘う姿が見られ、三人組になっていた。年中児と年少児を結び付けようとする様子はあまり見られず、ぎこちなさが見られたが、年長児がそれぞれに声をかけることで三人組の関係が深まってほしい。	・年中児が運動会でしたりリズムを年少児と一緒に楽しめたことで、三人組での活動も徐々に慣れ、硬さがほぐれてきたようである。 ・発表会の練習のため年長児がわくわくタイムに参加できないことがあった。練習を早い時期に始め、わくわくタイムに参加できるようにすればよかった。	・人数が増えるとふざけてしまう幼児がいる。しかし、他の異年齢児にやさしく接することのできる幼児も多く、さらに楽しく参加できていた。 ・1年間を通して同じ年少児、年中児とかかわることで、関係が深まり親しみをもち、自ら年長として行動できるようになってきた。													